



大阪 2026 年 新年号

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS



HAPPY NEW YEAR 2026

- ◆令和 8 年 年頭所感
林秀昭 大阪金属プレス工業会 会長 . . . 1
- ◆令和 7 年 忘年会 . . . 2 ~ 4
- ◆金属プレス研修塾 神戸製鋼所見学 . . . 5 ~ 6
- ◆理事会 / 安全・技術委員会 / 技能検定委員
意見交換会 報告 . . . 7
- ◆青年部報告 および 日金協 次世代会 ご案内 . . . 8
- ◆令和 8 年 新春特別講演会・新年賀詞交歓会 ご案内 . . . 9 ~ 10
- ◆金属プレス加工技術展 2026 出展 ご案内 . . . 11 ~ 12
- ◆ポリテクセンター関西 プレス加工技術セミナー ご案内 . . . 13 ~ 14

年頭のご挨拶

(一社) 大阪金属プレス工業会
代表理事 林 秀昭



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は当会の運営に際し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我々のプレス部品づくりの業界は、さまざまな世界情勢の影響を受け、依然として不安定な状況が続いております。加えて、人件費をはじめとする諸経費の高騰により、日々の経営に頭を悩ませる企業も少なくありません。市場環境の急激な変化により、従来のプレス単品加工のみでは企業として成立が難しくなってきているのが実情であります。

このような状況下、当大阪金属プレス工業会では、各企業が長年培ってこられた優れたプレス技術や金型技術を活かし、新規顧客開拓の一助となるよう、「インターモールド（金属プレス加工技術展）」への積極的な出展を推進してまいりました。

また、会員企業の経営者および社員の皆様に業界の見識を深めていただくため、国内工場見学や海外視察を実施するとともに、国家試験である「プレス技能検定」につきましては、当会主催の学科・実技講習会を通じて受験者の合格率向上に努めてまいりました。

本年におきましても、若手社員を対象とした6回シリーズの「金属プレス経営塾」をはじめ、国内工場見学会、プレス加工セミナー、経営セミナー等、さまざまな事業を開催する予定です。

さらに、賛助会員であるプレス機械メーカーや搬送装置メーカーの皆様には、最新技術をご紹介いただき、生産性向上の一助を担っていただきたいと思います。

当会の「会員の皆様を守り育てる、会員の皆様とともに未来につなぐ」という会員パートナー宣言のもと、「プレス部品づくりを夢と希望を持てる魅力ある業界に」というビジョンを掲げ、本年も事業展開を進めてまいります。

引き続き、皆様のお一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和7年 忘年会



◆ 日時

令和7年（2025年）12月4日（水）18:30～

◆ 場所

ホテルモントレグラスミア大阪 22階「ハートウェイホール」

◆ 出席者

42名（会員企業のみ参加／事務局2名含む）

当工業会の令和7年の忘年会は昨年と同じ会場、ホテルモントレグラスミア大阪にて開催しました。

今年は昨年を上回る、40名の会員企業の方にご出席頂きました。

島田真輔副会長の司会進行で始まり、冒頭に林会長からご挨拶があり、世間や業界の情勢で一年間を振り返るとともに、会員企業様の一年間の労をねぎらいました。

次に関健一副会長の乾杯ご発声にて開宴、美味しい料理・飲み物でおなかを満たしながら、会場のあちらこちらで、名刺交換や情報交換が活発に行われていました。

その後、今秋から一新となりました事務局（福岡事務局長と中森事務局員）の紹介と挨拶に続いて、



林会長 開会の挨拶



関副会長 乾杯のご発声



(株)双和製作所様 ご挨拶

新規入会の (株) 双和製作所 様

各種プレスマシンの開発・製造・販売を手掛ける 3 社

アイダエンジニアリング (株) 様

(株) アマダプレスシステム 様

コマツ産機 (株) 様

から紹介と挨拶があり、会はどんどん進行していきます。

そしていよいよ皆さんお待ちかねの

「豪華賞品・大抽選会」の時間となりました。

今回は林会長、関副会長、西村副会長、

島田副会長、朝田副会長、西山理事、

野々垣理事、濱田監事、そして西山顧問税理士

から 17 点もの協賛品をご提供いただきました。

賞品リスト

- ウイスキー
(山崎とバランタイン 17 年計 4 本)
- アラジントースター (1 台)
- 象印携帯魔法瓶 (2 個)
- 女性用ハンドバッグ (3 個)
- パナソニック製シェーバー (2 個)
- LED 卓上スタンド (2 個)
- EMS アイリラックス (1 個)
- 赤ワイン (1 本)
- ㈱ビゼン社製作
ステンレスマドラー (2 本 1 セット)



抽選会で賞品ゲット!

壇上では当選者に豪華賞品を手渡し、喜びのひと言を頂きました。

大抽選会の後もしばらくは歓談が続きましたが、楽しい時間は

アッと過ぎるもの。

残念ながら閉宴の時間となり、閉宴のご挨拶は

中辻将喜理事 (青年部会長) が壇上に立ち、景気よく

一丁締めで最後を締めて頂きました。



中辻理事 (青年部会長) の挨拶

会場のあちこちで歓談の花が咲きました🌸



お久しぶりです。
お元気ですか？

初めまして
よろしくお願いいたします。



へえ～ そうなんですね

ワタワタ

ガヤガヤ



じゃあ また今度！

<会員の皆様へ>
大変楽しい忘年会です。
来年のご参加をお待ちしております。

金属プレス研修塾 神戸製鋼所見学

日 時 : 令和7年(2025年)11月21日(金) 14:00 ~ 16:00
訪 問 先 : 株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所 (兵庫県加古川市金沢町1)
内 容 : 挨拶、DVD鑑賞、見学(原料ヤード、高炉、熱延など)、応接で質疑応答など
参 加 者 : 15名(塾生11名、他4名)

金属プレス研修塾は、1年間(計6回)の研修を通じて塾生を募集し、金属プレス製品が出来るまでの過程(①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作)を学び、同時に塾生同士の交流を図る目的で令和5年(2023年)から開始して今年は3年目(第3期生)となります。

9月の開塾式に続いて今回は鉄鋼材料の製造工程を学び、研鑽を高めため、(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所を訪問しました。

(株)神戸製鋼所は今年創業120周年を迎える、鉄鋼業界のリーディングカンパニーであり、そのマザー工場である加古川製鉄所は、1970年(昭和45年)8月に高炉の操業を開始した、鉄鋼一貫体制の神戸製鋼所最大の製鉄所です。



転炉

JR加古川駅から送迎バスに乗り、海岸方面に南下すること30分弱で加古川製鉄所へ到着。最初お互いの名刺交換、次に紹介DVD鑑賞、そして見学に出発です。まず、原料ヤードから始まり、廃炉予定の第一高炉も含め、3つの高炉を見学しました。高炉では鉄鉱石や石炭を入れて反応させ銑鉄(溶けた鉄)が作られます。次に訪れた製鋼設備の工場では、貴重な転炉(大量の酸素を吹き込んで炭素成分を取り除いて強靱な鋼を作る工程)の作業を見ることができ、SF映画さながらの光景に塾生一同驚嘆の声を上げていました。(一見の価値あり!)その後は高炉から出た熱い鋼は、厚板工場等に運ばれます。厚板工場では長いローラー上を何度も往復しながら徐々に薄く延ばされてオーダーされた厚みに加工されます。人ひとりいない工場で機械だけがリズムよく、黙々と製品を製造する姿に感動すら覚えました。



厚板圧延機

バスの車内や工場施設では、神戸製鋼所の従業員の方の、丁寧かつユーモアある説明でグッと製鉄所の魅力に引かれ、見学後の質疑応答の場ではたくさんの質問もあり、製鉄への理解が深まったことと思います。塾生の皆さんからも、日ごろ立ち入ることのできない製鉄所の内部を見学出来て、大変良かったとの声が多く聞かれました。

※この紙面の「転炉」「厚板圧延機」の写真は(株)神戸製鋼所加古川工場様のカタログから転載しており、掲載の許可を得ています



記念撮影

<2025年 金属プレス研修塾 神戸製鋼所見学 塾生レポート 抜粋>

(同じ内容のものをまとめました、順不同)

1) 所感 (感銘を受けた内容)

- 広大な570万㎡の敷地の大きさ、各設備の合理的な配置と効率的な一貫生産体制、女性従業員による溶銑作業、100分の1単位でのコイル製造の高精度などに驚いた。
- 鉄鋼は鉄と石炭を混ぜていることなどは知らなかったので勉強になった。
- 見学部署では従業員にほとんど会う機会が無く、別室でのコントロールに、自動化・省力化が完成されていると感じた。
- 安全作業中のホーン・パトライトでの連絡作業を見て、製造業における安全の大切さを考えさせられた。
- 環境への配慮が徹底されており、CO₂の少ない原材料の使用、排出量のリアルタイムでのチェック、異常を感知すると作業を止める覚悟があることを聞き、地域社会との調和を大切にされていることが判った。
- 工場全体がきれいに管理されており、そこで働く人たちの製品への強いプライドと責任感を感じ、日本のものづくりを支えている現場に触れられたことは大きな刺激になった。

2) 自分の会社・組織・役割・仕事に関して参考になった内容

- 自社でも再利用など出来ることから環境に配慮した取り組みを進めたいと感じました。
- 環境面において意識を高く持たれており、2050年のカーボンニュートラルの取組について、弊社としても少しでもCO₂排出を抑制しないといけないと思った。
- 現場がひろいなかでも5Sが行き届いており、日常点検など個々の役割・地域への粉塵対策など徹底している観点は自社でも取り組んでいかなければいけないと感じた。
- 生産ラインにおいても一切無駄がなくチーム力の高さが目に見えてうかがえ。自社でもチーム力の底上げをこれから意識することで省力化を目指したい。
- 熱延工場では日ごろから3Sの徹底がされていると感じた。私の職場でも3Sを徹底し、常に綺麗な職場を維持できるように心がけようと思った。
- 今後は、プレス金型業界という視野だけでなく、「製造業」というもっと大きな流れの中で、原材料から製品までの流れをしっかりと理解しようと意識して仕事に取り組んでいきたい。

3) その他 (開塾式全般で、印象に残った内容、自身の一年間の抱負など)

- 多くの工程と大規模な体制、そして多くの従業員によってMade in Japanの技術とブランドが支えられていることに、改めて喜びを感じた。
- 省エネ活動に積極的に取り組んでいることや自社で再利用できるものは何事も無駄にしていないう取り組みがとても印象に残った。
- 高品質な製品を目指している姿勢に、品質をもっと追求せねばならないと感じた。
- 危険がいつも存在する場所だからこそ、ルールを守ることや、確認を徹底することが何よりも大事だという姿勢は、ものづくりの基本だと改めて感じた。
- 製鉄所がエネルギーの再利用や環境を良くすることに真剣に取り組まれている姿を見て、私たちの会社も事業を通じてどのように社会に貢献できるかを考える良いきっかけになった。

以上

理事会／安全・技術委員会／技能検定委員意見交換会 報告

開催日時、場所	内 容	参加者
令和 7 年前期 技能検定委員 意見交換会 2025 年 10 月 30 日 (木) 18:00～19:30 たかつガーデン 楓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年前期技能検定 合格者数報告 ・ 令和 8 年前期技能検定に向けての意見交換 ・ 令和 8 年前期技能検定対策の講習会に向けての意見交換 	9 名
安全・技術委員会 2025 年 11 月 6 日 (木) 18:00～18:50 たかつガーデン 百合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年前期技能検定 結果報告 ・ 令和 7 年前期技能検定 実施後 検定委員意見交換会について ・ 第 2 期 (前期) 研修塾の全日程終了報告 ・ 第 3 期 (今期) 研修塾の中間報告 ・ 第 4 期 (次期) 研修塾の進め方 ・ 安全に対する意識向上を図る施策の検討 	8 名
第 33 回 理事会 2025 年 11 月 17 日 (月) 18:15～19:30 たかつガーデン ガーベラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年度上期の収支決算報告 期末決算予測 ・ 令和 7 年度上期の会員異動状況 ・ 安全・技術委員会報告 上記安全・技術委員会に関する内容 ・ 総務・経営委員会報告 忘年会、新年賀詞交歓会進捗 ・ 令和 8 年 (2026 年) の年賀状じまい 	16 名

2025 年 10 月以降上記の会議を開催しましたが、特に出席された方の関心は「令和 7 年前期技能検定」合格率 UP の話題でした。

なお技能検定合格者には、2025 年 12 月 8 日付で合格証書・技能士章 (バッジ) をお送りしました。今回はその合格者から喜びの声をいただきましたのでご紹介します。



金属プレス加工 1 級技能士になりました

飯田金属工業株式会社 梅田 理紗子さん

2 級技能士を取得してから 9 年が経ち、仕事と家事の両立に追われる中、周囲の方が資格取得に挑戦する姿を羨ましく感じながらも、いつか挑戦出来たらと思っていました。そんな折、上司から『挑戦してみないか』と声をかけてもらい、やるからには全力で取り組もうと決心しました。

仕事・家事・育児をこなす中、勉強時間の確保は想像以上に大変でした。

疲れた日でも『過去問 1 年分だけ勉強しよう！』『ブランク 1 枚だけ切る練習をしよう！』と 1 つだけでも目標を決めやりきることで自分を奮い立たせました。ご指導いただいた先輩方や恩師、職場の方々、なにより家族の協力のおかげで合格出来たと実感しています。

更なる知識・技術向上に向けこれからも日々努力し、今後資格取得を目指す方々の後押しをすると共に、誰でも積極的に挑戦できる環境作りが今後の目標です。

今年の検定合格を
目指して、今から
準備しよう！



青年部報告 および 日金協/次世代会案内



大阪金属プレス工業会 青年部 総会の様子

大阪金属プレス工業会の若手で組織する青年部からのご報告とお知らせです。

大阪金属プレス工業会 青年部は、業界の次代を担う 20 歳～50 歳の青年が集い、自社の繁栄と工業会の発展を願い、情報交換・修練・友情で青年経済人としての知性と指導力を得ることを信条した組織です。

現在は 5 名で活動しています。

- 中辻 将喜 氏 (株)大喜金属製作所 / 青年部会長
- 榎本 康広 氏 (株)榎本金属製作所
- 関 隆史 氏 (飯田金属工業(株))
- 林 蔵人 氏 (株)ハヤシ
- 西村 勇紀 氏 (株)ニシムラ

2025 年 10 月 24 日 (金) に行った会合では、情報交換会や来年度の工場見学先などを検討しました。青年部の活動に興味がある方は、青年部会の会則をお読みいただき、ご検討をお願いいたします。

青年部会則はコチラ ⇒ http://www.omsa.or.jp/image/seinenbu_kaisoku.pdf

なお、私たちの上部団体である日本金属プレス工業協会でも、2025 年 5 月 7 日に若手組織『日本金属プレス工業協会 次世代会』を発足、2026 年 2 月、3 月には工場見学や懇親ゴルフを予定しています。当工業会青年部と同じく興味を持たれた方は是非入会をご検討ください。

記

【目的】

若手会員のネットワークを広げ、交流やスキルアップの機会を創出すること

【入会金/年会費】

無し/60,000 円

【入会資格】

次のすべての項目に該当する者

- (1) 一般社団法人日本金属プレス工業協会の会員および一般社団法人日本金属プレス工業協会に入会を検討している者
- (2) 現経営者、後継者およびそれに準ずる者
- (3) 年齢 20 歳以上 55 歳以下の者

【入会申込】

右記の入会申込フォームよりお申込み下さい。⇒⇒⇒

【問い合わせ先】

(一社)日本金属プレス工業協会 事務局

<TEL>03-3433-3730 <mail>jmsa@nikkin.or.jp



令和7年12月2日

大阪金属プレス工業会
会員各位

(一社)大阪金属プレス工業会
代表理事 林 秀昭
副会長兼総務経営委員長 島田 真輔

令和8年 新春特別講演会 新年賀詞交歓会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

毎年の恒例ではありますが、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、令和8年を迎えるにあたり、新年賀詞交歓会を開催致します。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い致します。尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

I 日時

令和8年(2026年)1月28日(水)

第1部 新春特別講演会 16:00~17:15 (予定)

講師：田岡秀樹氏 (元 本田技研工業(株) 四輪事業本部設備金型企画推進室室長)

演題：「世界の自動車の行方予想 (EV、PHEV、EHV、ガソリン、ディーゼル、水素) とプレス部品づくりの変革への応答」

田岡秀樹氏 略歴

- | | |
|---------|--|
| 1990年1月 | ホンダエンジニアリング(株)
プレス部門の新機種グローバルモデル
プロジェクトリーダー |
| 2005年4月 | 車体塑型研究開発部長/新機種 DE 業務室長 |
| 2010年4月 | 執行役員 |
| 2013年4月 | 本田技研工業(株) 四輪事業本部設備金型企画推進室室長 |
| 2022年4月 | 生産技術統括部車体生産技術部 エキスパート・エンジニア |
| 2023年1月 | エリコンジャパン(株) パルザース事業本部 シニアアドバイザー
TITAN Indonesia Executive Advisor
(株)狭山金型製作所 バリュークリエーションアドバイザー |
| 2023年8月 | (株)タンガロイ アドバイザー |



第2部 新年賀詞交歓会 17:30~19:30 (予定)

会食：着席&buffet料理を予定

II 会場

シェラトン都ホテル大阪 (大阪市天王寺区上本町 6-1-55)

第1部 新春特別講演会 3階 「金剛の間」(お部屋は予定です)

第2部 新年賀詞交歓会 3階 「志摩の間」(お部屋は予定です)

III 参加費

お一人目 12,000円 お二人目から 10,000円 (消費税込み)

(第1部・第2部とも参加、いずれか一方だけの参加でも、参加費は上記の通りとなります)

以上

●出席いただける場合は、1月13日(火)までに、このページに必要事項を記載の上、お申込みください。

(送り先)

FAX : 06-6762-7633 または E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

会社名 : _____

窓口ご担当者 : _____

Eメール : _____

ご参加者 : 下記にご記入をお願いします

役職名	お名前	ご参加 : ○ 不参加 : ×		参加費 消費税込み
		特別講演会 16:00~	賀詞交歓会 17:30~	
				12,000円
				10,000円
				10,000円
				10,000円

(お支払いについて)

大阪金属プレス工業会へお振込みをお願いします。

当日現金ではお受け取りできませんので、よろしくをお願いします。

お振込後のキャンセルは1月21日(水)までにご連絡をお願いします。

それ以降はご返金が出来ません。

(振込先)

PayPay 銀行 ビジネス営業部

口座番号 普通 6453572

(一社) 大阪金属プレス工業会

シャ) オオサカキンゾクプレスコウギョウカイ

お振込みの期日は **1月26日(月)** までをお願いします。遅れる場合はご連絡下さい。

請求書が必要な方はお申し出下さい。但しインボイス請求書は発行出来ません。

(登録番号はございません)

金属プレス加工技術展 2026 開催案内

大阪展 INTERMOLD 2026 金型展2026 金属プレス加工技術展 2026

2026年4月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00 インテックス大阪

名古屋展 INTERMOLD 名古屋 金型展名古屋 金属プレス加工技術展 名古屋

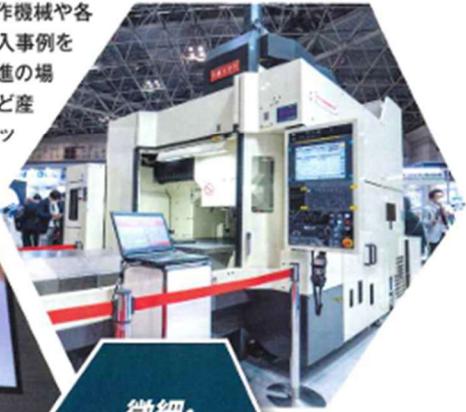
2026年5月20日(水)～22日(金) 10:00～17:00 ポートメッセなごや

2026の開催テーマ

『変革の力を結集し、世界をリードする日本のものづくりへ』

製造業はいま世界各国で大きな転換期に直面しています。自動車のEV化を代表例に産業構造の変化に伴うサプライチェーンの再構築やカーボンニュートラル・CO2排出量削減といった環境問題への対応、人手不足や競争力強化を背景とした自動化・高効率化など、製造業を取り巻く環境はこれまでにないスピードで目まぐるしく変化しています。この難局に対し、世界と戦いリードするためには、磨き上げてきた技だけでなく新技術の導入や変化に対応できる組織力と発想力といった“変革の力”が重要です。

金型・金属プレス加工技術の専門展として、本展は金型メーカーを支える工作機械や各種工具、CAD/CAM/CAE、表面処理など各分野の最新製品やサービス、導入事例を展示やセミナーで紹介し、ものづくり関連企業が抱える課題解決とビジネス促進の場を提供します。また、プラスチック部品成形や鍛造・鋳造技術、自動車、航空機など産業別部品加工に特化した特別企画フェアも併設し、異業種分野とのビジネスマッチングを後押しします。技術の深化と連携そして新たな市場開拓に向け、貴社の持つ変革の力をぜひこの場で発信してください。

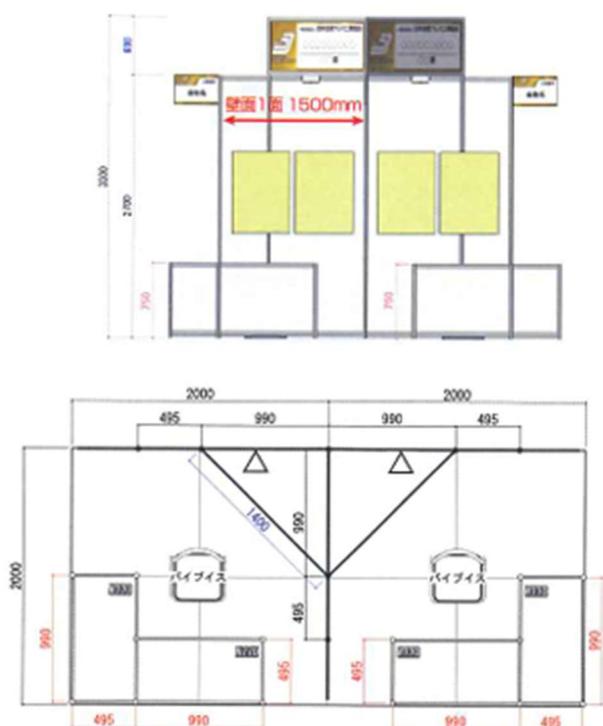


主催者ブース出展概要

提供可能な展示スペースには限りがありますので、応募多数の場合は期日前に申込みを締切ることがございます

標準小間出展

- 小間サイズ 4㎡(幅約2m×奥行約2m×高さ約2.7m)
- 出展料 無料、別途出展登録料39,600円(税込)が必要
※設営や運営に関する費用はすべて貴社負担となります
※標準小間では実機展示や実演はできません



★詳細について

- ・日本金属プレス工業協会 会員
今回のプレス会報同封のパンフレットをご参照下さい
- ・日本金属プレス工業協会 非会員
以下QRコードをご覧下さい



●一般出展
パッケージブース
517,000 円
9 ㎡・正会員価格・税込



●日本金属プレス工業協会 主催ブース
パッケージブース
39,600 円
4 ㎡・正会員価格・税込

一般出店・パッケージタイプ9㎡ 円(正会員価格・税込)に比べて、主催者ブースへのご出展は、標準小間4㎡で36,900円(正会員のみ・税込)と出費費用をかなり抑えることができます。

[この機会に日本金属プレス工業協会\(日金協\)への入会もご検討ください。](#)

本件に関する問い合わせ先

インターモールド振興会 TEL: 06-6944-9911 E-Mail: infoim2026@tvoe.co.jp

トラブル対応を
理論的に学ぼう！

コースNo：C0852

定員：先着15名！

「現場力を鍛える！
トラブルゼロのプレス加工技術」

能力開発セミナー

プレス加工技術

2026年2月25-27日(3日間)
9:15~16:00

こんなことが学べます

1. プレス加工の原理を体系的に理解し、**知識を習得**する
2. プレス機械・金型の構造や**特性を把握**し、
適切な選定・運用が可能になる
3. トラブル要因の分析手法を身につけ、
問題解決ができるようになる
4. 加工品の品質を安定化させるための
改善できるスキルを習得

アクリル金型による
分解組立実習

カリキュラム

1. プレス加工の概要
2. プレス機械とプレス金型の概要
3. せん断、曲げ、絞り加工実習、トラブル要因の分析演習

使用機器

万能深絞り試験機
引張試験機
テスト用金型

受講料 23,500円(税込)

持ち物

筆記用具、関数電卓、
作業服(上下)、作業帽

場所 ポリテクセンター関西 〒566-0022 大阪府摂津市三島1丁目2番1号

申込方法 「受講申込書」に必要事項をご記入の上**FAX**でお申し込みください。



FAX：06-6383-0961

ご不明な点がございましたら ポリテクセンター関西 事業課
(TEL：06-6383-0064) へお問い合わせください

お申し込みの際はこちらのURL又は二次元コードにアクセスの上、申込方法をご確認ください。

https://www3.jeed.go.jp/osaka/poly/zaishoku/seminar_app.html

2025年度 能力開発セミナー受講申込書 ※必ずFAXにてお願いします



□ ポリテクセンター関西
FAX 06-6383-0961

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認のうえ、申し込みます。

年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな受講者氏名	生年月日(西暦)	就業状況※1	備考※2
		月 日		年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規社員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規社員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規社員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規社員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
受講区分(該当に○印)	<input type="checkbox"/> 会社からの指示による受講 <input type="checkbox"/> 個人での自己受講			会社・個人ID (機機使用欄)※記入不要		
法人名(貴社名)	事業所名					
所在地	業種(該当に○印)			<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> 学術研究・専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> その他()		
法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人					
企業規模(○印)	<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上					
申込担当者名(※3)	所属部署	TEL		FAX		
	ふりがな担当者名	メール				
緊急連絡先(※4)	ふりがな氏名	TEL				
		メール				

※1 就業状況の非正規雇用とは、一般にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

※2 セミナーを実施するうえでの参考とさせていただきます。今回、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲で【備考】欄にご記入下さい(例: 切削加工作業に約5年間従事)。

※3 受講可否等の連絡先となりますので、必ずご記入をお願いします。

※4 緊急時に連絡が付くご連絡先(休業日等でもご連絡が付く連絡先)について、上記(※3申込担当者名)と異なる場合、ご記載ください。

★事業所・団体でお申込みの場合、所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケートへのご協力をお願いします。

●個人でのお申込みの方はこちらにご記入ください。(※請求書宛名及び振込名義が個人となる場合)

住所	〒	TEL	
		FAX又はメール	

【保有個人情報保護について】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用されるものであり、それ以外に使用することはありません。事業所・団体でお申込みの方は、申込担当者様へてに送付いたします。

お問い合わせ

●ポリテクセンター関西 事業課(大阪府摂津市三島1-2-1) TEL 06-6383-0064

機機使用欄	1	2	3	<input type="checkbox"/> 決定通知書 <input type="checkbox"/> 写し <input type="checkbox"/> 受講票 <input type="checkbox"/> 文書 <input type="checkbox"/> 請求書	〒
-------	---	---	---	--	---

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら
会員各社の社員様の育成のお手伝いをし
各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が
次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。
会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中
50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され
それが大阪のプレス業界を活性化して
将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式HP



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式facebook



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式LINE 友だち登録
(会員企業用)

